

## 今年度(令和5年度)取り組む予定のがん対策 施設名【 北部地区医師会病院 】

## 1. 予防(喫煙、感染、飲酒など)

- ・健康管理センターにて医師が検診面談時に生活習慣病予防に関して禁煙や飲酒指導を実施
- ・特定保健指導対象者へ、禁煙・飲酒に関する指導や健康サポートを実施

## 2. 検診・早期発見

- ・健康管理センターより、住民健診・企業検診・人間ドックなどの受診勧奨  
⇒健康管理センターや病院外来の廊下に受診勧奨のポスターを掲示
- ・健診後、必要な方への二次検診への誘導の強化  
⇒受診当日、前年度要精査の結果が出た方へ受信確認及び未受診者への受診勧奨を実施
- ・健康管理センターの待合に、リーフレットをおいている

## 3. 医療提供体制(3療法、チーム医療、医療連携、ゲノム、病理、新規実装など)

- ・食道がん手術 ⇒腹腔鏡下にて食道がん手術を行うようになった。

## 4. 支持療法(緩和、在宅、支持、リハビリ、妊孕性など)

- ・がん性疼痛のアセスメントと評価:苦痛のスクリーニングから緩和ケアチームの介入を強化  
⇒R5.4月より緩和ケア介入依頼スクリーニングシートを作成し、運用中。緩和ケアチームが介入する患者に対し、STAS-Jの評価をCNで実施している。
- ・令和4年より緩和ケア担当医による訪問診療を開始、在宅療養への移行をスムーズにする  
⇒退院前・後訪問(看護・リハビリ)で自宅の療養環境を確認、CNを含めた退院カンファレンスの実施  
⇒在宅療養、在宅見取りに向けて関係者とのカンファレンス・連携の強化
- ・告知時の看護師等の同席  
⇒外来主任に緩和ケアCN配置、外来スタッフ・医師へ3人のCNの名前とPHS番号を周知し、告知時には連絡をもらうようにした。

## 5. 個別医療(希少、難治、小児、AYA世代、高齢者、離島・へき地など)

- ・在宅や施設入所中の高齢がん患者の意思決定支援の仕組みづくり  
⇒高齢がん患者の退院支援及び環境整備、家族指導と家族支援の強化
- ・入院中のがん患者の意思決定支援の強化
- ・離島のがん患者が入院した場合、退院後の治療継続における調整、多職種カンファレンスにて問題点の抽出と連携の強化
- ・サポート体制が希薄な方(独居・認知症・家族と疎遠な方など)に対する地域との協力体制強化

## 6. 情報提供・相談支援

- ・コロナ渦で縮小しているがん相談支援センターの地域への広報・周知を拡大  
⇒告知時にはがんサポートハンドブックを配布し、相談支援センターの説明を実施  
⇒患者ゆんたく会の再開(ポスター掲示で広報)  
⇒地域の訪問看護ステーション等へアンケートを取り、勉強会を開催予定
- ・がん相談支援基礎研修(1)1名(2)1名(3)3名:修了者の増員
- ・患者とその家族が利用可能なインターネット環境の整備

## 7. 就労支援

- ・治療と仕事の両立支援の院内外への広報・周知  
⇒就労支援について、産業支援センターの紹介、橋渡し

## 8. 社会的な問題への対策(アピアランスケア、自殺対策、疎外感の解消、偏見の解消など)

- ・アピアランスケアの充実 ⇒ 必要な方への指導強化
- ・がん患者の自殺対策の強化:フローの見直しや院内研修の実施  
⇒告知時の同席と自殺リスク因子の確認、マニュアルの整備(情報収集中)

## 9. 基盤整備A(人材育成など)

- ・がん化学療法看護認定看護師教育課程の受講希望者の育成
- ・がん専門薬剤師の確保(育成)

## 10. 基盤整備B(がん登録、進捗確認など)

- ・がん登録初級研修(現1名)中級研修(現2名)修了者の増員
- ・実務者間の情報共有の強化

## 11. 基盤整備C(研究、がん教育、啓発、患者・市民参画など)

- ・地域住民や介護施設等へ向けたがん教育の企画・実施  
⇒地域向け緩和ケア研修会の実施  
⇒地域の薬剤師向けの緩和ケア研修会の実施(薬薬連携の強化)